Clarion

取扱説明書

AB260

AM/FM チューナー付カセットデッキアンプ

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところ（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

目　次

はじめに

ご使用の前に知っておいていただきたいご注意を説明しています。

主な特長 3
ご使用の前に 4
　安全に正しくお使いいただくために 4
　安全上のご注意 5
取扱上のご注意 7
　本体のお手入れについて 7
　表示について 7
　本体の取り扱いについて 7
　カセットテープについて 7

本機の操作

■各部の名称とはたらき

本体部 8

■基本の操作

電源を入れる 10
音量を調節する 10
時計表示に切り換える 11
時刻を合わせる 11
音質を調整する 12
バランス/フェダーを調整する 12
音質を簡単に設定する(Z-エンハンサー機能) 13

■ラジオを聴く

ラジオモードを選ぶ 14
受信バンドを切り換える 14
手動選局する(マニュアル選局) 14
プリセット選局する 14
自動選局する(シーク選局) 15
プリセットメモリーする 15
自動メモリーする(オートストア機能) 15
放送局を確かめる(プリセットスキャン) 15

■カセットテープを聴く

カセットテープを聴く 16
カセットテープを取り出す 16
早送りする 16
巻戻しする 17
カセットテープの演奏面を切り換える 17

その他

故障と思われる前に 18
仕　様 19
アフターサービスについて ..... 裏表紙

主な特長

本機は、AM/FM ラジオとカセットデッキを一体にしたカーステレオです。

■ *Z-エンハンサー機能*

- 3 種類の音質効果メモリーを備え、お好みの音質を即座に設定できます。

■ *ラジオ部*

- プリセットが簡単なオートストア機能で、FM10 局、AM10 局をメモリー
- メモリーした放送局を順番に受信するプリセットスキャン機能

■ *カセットデッキ部*

- 演奏中にテープが終端に来ると、自動的に演奏面が切り換わるオートリバース機能

ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警 告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注 意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中には具体的な注意内容（左図の場合は指はさまれ注意）が描かれています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

❗ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

●安全のため、ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●お読みになったあとはいつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

安全上のご注意

■使用上のご注意

⚠ 警 告

●走行中は運転者による操作をしない・・・
運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

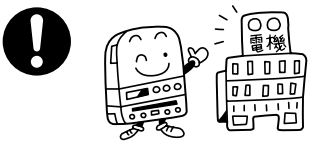
●本機を分解したり、改造しない・・・
事故や火災、感電の原因となります。

●ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない・・・
事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に相談してください。

●万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に相談する・・・
そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。

●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する・・・
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

●本機の取り付け及び取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する・・・
専門技術と経験が必要です。



専門技術と経験が必要です。

⚠ 注 意

●運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する・・・

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となる事があります。

●カセットテープ挿入口に手や指を入れない・・・

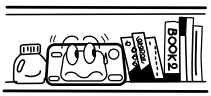
ケガの原因となることがあります。

●カセットテープ挿入口に異物を入れない・・・

火災や感電の原因となることがあります。

●本機を車載用以外には使用しない・・・

感電やケガの原因となることがあります。



●アンテナは、折れ曲がった状態で使用しない・・・

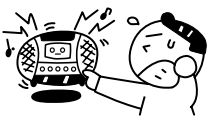
歩行者などに接触してケガの原因となることがあります。

●樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない・・・

部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。

●電源を切るときは、音量を最小にする・・・

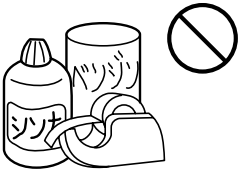
電源ON時に突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



取扱上のご注意

本体のお手入れについて

●本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



⚠注 意

樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障し、火災などの原因となることがあります。

自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

表示について

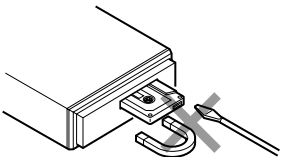
●非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

●液晶画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。
常温に戻れば回復します。

本体の取り扱いについて

●本機は水分や高温、多湿を嫌いますので、車内清掃や換気に十分ご注意ください。

●ヘッドおよびカセットテープに、磁石やドライバー等を絶対に近づけないでください。

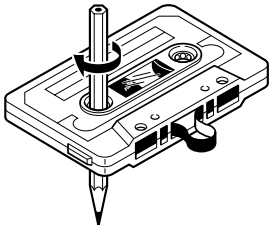


●本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることは、やめてください。

カセットテープについて

■取り扱い上のご注意

●カセットテープ挿入時にテープがゆるんでいると誤動作を起こす場合がありますので、テープのゆるみを直してからご使用ください。



●C-120タイプのカセットテープは、テープ自身が非常に薄く、伸びたり、切れたりするため、ご使用は避けてください。

●ラベルのはがれかかったカセットテープ、また、ケースの変形しているカセットテープは、メカニズムの故障の原因となりますので、ご使用は避けてください。

●ヘッドが汚れると高音域が低下します。いつも良い音質でお聴きいただくため、ヘッド表面を時々クリーニングしてください。市販のクリーニングテープを使用すると便利です。なお、クリーニングにはシンナーやベンジンは絶対に使用しないでください。

●長時間ご使用にならないときは、カセットテープを本機から抜き取り、ケースに入れて保管してください。

■保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

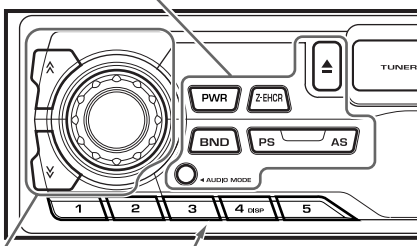
●直射日光の当たる場所

●湿気やホコリの多い場所

●暖房の熱が直接当たる場所

各部の名称とはたらき

本体部



イジェクトボタン
- テープが入っているときに押すと、テープがイジェクトされます。

電源ボタン
PWR
- 電源を入れ、もう一度押すと電源が切れます。

Z-エンハンサーボタン
Z-EHCR
- 音質を3段階に切り換えます。

バンドボタン
BND
- ラジオモード時は、バンドの切り換えを行います。また、押し続けると自動/手動選局を切り換えます。

PS/ASボタン
PS AS
- ラジオモード時に、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。

オーディオモードボタン
AUDIO MODE
- 音質やバランス、フェダーの調整モードに切り換えます。

サーチアップボタン
- ラジオモード時は選局をします。
- 各種設定時にも使用します。

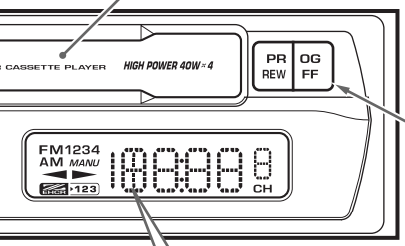
サーチダウンボタン
- ラジオモード時は選局をします。
- 各種設定時にも使用します。

ロータリーボリューム
- 音量を調整します。
- 音質/バランス/フェダーの調整に使います。

ダイレクトボタン(1～5)
1 2 3 4 DISP 5
- ラジオモード時に、放送局のメモリーや、直接呼び出しをします。

ディスプレイボタン
4 DISP
- 時計表示と選局/演奏状態表示を切り換えます。

時計表示/調整
BND + 4 DISP
- バンドボタンを押しながらディスプレイボタンを押すと、周波数表示または演奏状態表示を時計表示に切り換えます。
- バンドボタンを押しながらディスプレイボタンを押し続ける（約2秒間）と、時計調整モードになります。



PR REW **OG FF** プログラムボタン
- 同時に押して、テープの演奏面を切り換えます。

PR REW 巻戻しボタン
- テープの巻戻しをします。

OG FF 早送りボタン
- テープの早送りをします。

ディスプレイ部

Z-エンハンサー設定時に点灯

テープ走行インジケータ

FM12 :受信バンド選択時に点灯
AM

MANU :手動選局モード時に点灯

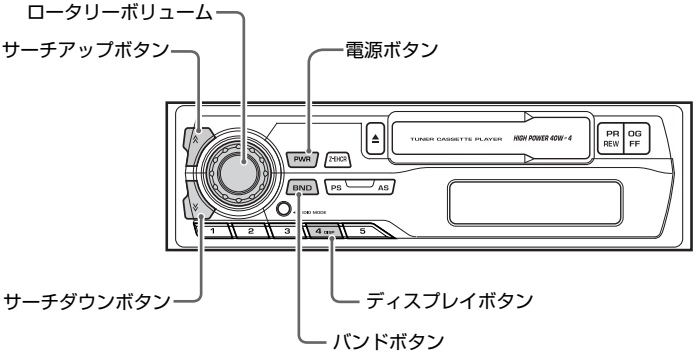
1～5 :プリセット選局時に点灯

80.0 : ラジオモード時
受信周波数表示を表示します。

PLAY : テープモード時
PLAYを表示します。

10:00 : 時計表示選択時
時計を表示します。

基本の操作



⚠警 告

運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてください。また、走行中にピラーアンテナやルーフアンテナの引き伸ばし操作をしないでください。

電源を入れる

1 エンジンをかける（ACCまたはエンジンONの位置にする）

→時計表示になります。

ご注意

バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、できるだけエンジンをかけた状態で行ってください。

- 時刻の設定は、「時刻を合わせる」（次ページ）をご覧ください。

2 電源ボタンを押す

PWR

→前回の電源を切ったときのモードで電源が入ります。

■電源を切るには…

もう一度電源ボタンを押してください。

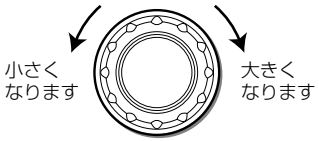
→電源が切れ、時計表示になります。

ご注意

音量が大きいときは、小さくしてから電源を切ってください。

音量を調節する

1 ロータリーボリュームを回す



→ディスプレイに調整音量値（「Uo: 15」等）を表示します。

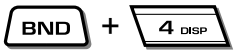
- 音量調整範囲は、0～33です。

⚠注 意

運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

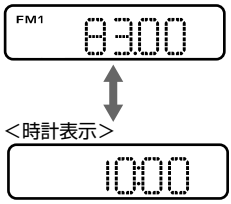
時計表示に切り換える

1 バンドボタンを押しながらディスプレイボタンを押す



→押すたびに、次のように切り換わります。

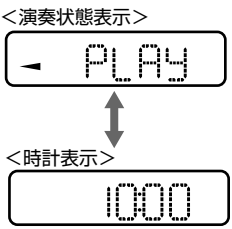
<周波数表示>



- 時計表示のときは、選局等のボタン操作時に受信周波数等を表示した後、元の時計表示に戻ります。

●テープモードの場合

<演奏状態表示>

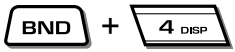


時刻を合わせる

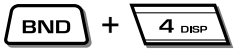
時計表示について…

車のエンジン作動時(ACC ON時)に時計を表示します。

1 バンドボタンを押しながらディスプレイボタンを押して、時計表示にする



2 バンドボタンを押しながらディスプレイボタンを押し続ける(約1秒間)



3 サーチアップボタンまたはサーチダウンボタンを押して時刻を合わせる

<時のセット>　<分のセット>

→サーチアップボタンまたはサーチダウンボタンを押すたびに、時または分が進みます。

- 時計は12時間表示で、午前午後の表示はありません。

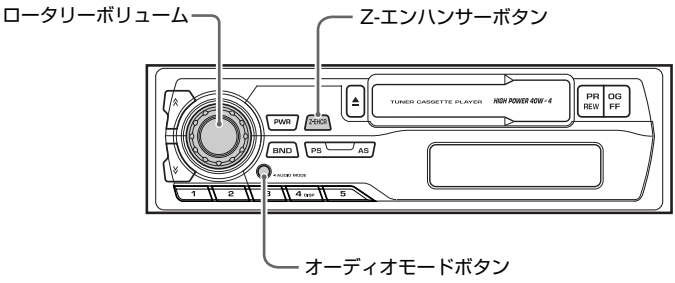
4 バンドボタンを押す

→時刻が設定されます。

ご注意

- 時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻調整は解除されます。
- 点検や修理などでバッテリーをはずすと、時計も止まります。もう1度時刻合わせをしてください。

基本の操作



音質を調整する

• 初期設定は、「0」です。

1 オーディオモードボタンを押して、音質調整(「BAS」または「TRE」)を選ぶ

AUDIO MODE

→ディスプレイに「 BAS 」が点灯して、音質等調整モードになります。オーディオモードボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

低音部調整(BAS)
↓
高音部調整(TRE)
↓
左右スピーカーの調整(BAL)
↓
前後スピーカーの調整(FAD)
↓
元のモード

2 ロータリーボリュームを回して、調整する

減衰されます　強調されます

•Z-エンハンサー機能がOFFの時調整できます。
•調整範囲は、−6〜+6です。

3 オーディオモードボタンを押して、元のモードに戻る

バランス/フェダーを調整する

• 初期設定は、「0」です。

1 オーディオモードボタンを押して、バランス(BAL) またはフェダー(FAD)を選ぶ

AUDIO MODE

→ディスプレイに「 BAS 」が点灯して、音質等調整モードになります。オーディオモードボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

低音部調整(BAS)
↓
高音部調整(TRE)
↓
左右スピーカーの調整(BAL)
↓
前後スピーカーの調整(FAD)
↓
元のモード

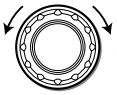
2 ロータリーボリュームを回して、調整する

●左右スピーカーの調整(BAL)

左側スピーカーの音が強調されます。　右側スピーカーの音が強調されます。

• 調整範囲は、L9(L 9)〜R9(R 9)です。

●前後スピーカーの調整(FAd)



後方スピーカーの音が強調されます。

前方スピーカーの音が強調されます。

• 調整範囲は、R9(r9)～F9(F9)です。

3 オーディオモードボタンを押して、元のモードに戻る

音質を簡単に設定する (Z-エンハンサー機能)

Z-エンハンサー機能について…

本機は、3種類の音質効果をメモリーしてあります。お好みの音質を設定してお楽しみください。

- Z-エンハンサー1：低音を重視したサウンド
- Z-エンハンサー2：高音を重視したサウンド
- Z-エンハンサー3：低音と高音を重視したサウンド

※初期設定は「OFF」です。

1 Z-エンハンサーボタンを押す

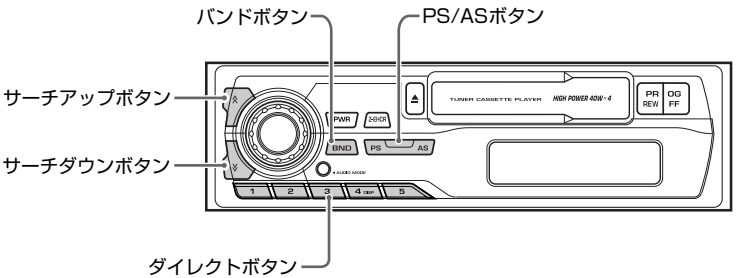
→「 EHCR 1 」が点灯します。

2 Z-エンハンサーボタンを押して、お好みの音質を選ぶ

→Z-エンハンサーボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

Z-エンハンサー1
↓
Z-エンハンサー2
↓
Z-エンハンサー3
↓
Z-エンハンサーOFF

ラジオを聴く



ラジオモードを選ぶ

1 カセットテープが挿入されているときは、イジェクトボタンを押してテープをイジェクトする

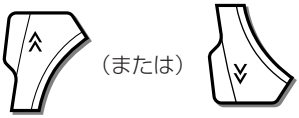
→受信バンド(「**FM 2**」等)が点灯し、受信周波数(「**8300**」等)を表示します。

手動選局する(マニュアル選局)

1 「***MANU***」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約2秒間)

→「***MANU***」が点灯すると、手動選局です。

2 サーチアップボタンまたはサーチダウンボタンを押して、放送のあるところに合わせる



受信バンドを切り換える

1 バンドボタンを押して、FM1、FM2またはAM1、AM2を選ぶ

→バンドボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

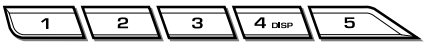
FM1→FM2→AM1→AM2

プリセット選局する

プリセット選局について…

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

1 ダイレクトボタン(1～5)を押して、聴きたい放送局を選ぶ



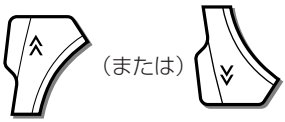
•ダイレクトボタンにメモリーするときは、「プリセットメモリーする」をご覧ください。

自動選局する(シーク選局)

1 「 ***MANU*** 」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約2秒間)

→「 ***MANU*** 」が消灯しているときは、自動選局です。

2 サーチアップボタンまたはサーチダウンボタンを押す



→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

プリセットメモリーする

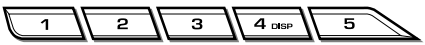
プリセットメモリーについて…

プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2の各バンドごとに5局ずつ、計20局です。

1 バンドボタンを押して、メモリーさせたいバンド(FM1、FM2またはAM1、AM2)を選ぶ

1 サーチアップボタンまたはサーチダウンボタンを押して、メモリーしたい放送局を選ぶ

2 メモリーさせたいダイレクトボタン(1～5)を押し続ける(約2秒間)



→受信している放送局がダイレクトボタンにメモリーされます。

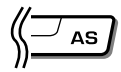
自動メモリーする(オートストア機能)

オートストア機能について…

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

1 バンドボタンを押して、メモリーさせたいバンド(FM1、FM2またはAM1、AM2)を選ぶ

2 ASボタンを押し続ける(約2秒間)



→受信電波の強い放送局が、自動的にダイレクトボタン(1～5)にメモリーされます。

ご注意

- 自動メモリーすると、これまでのメモリー内容は消去されます。
- 自動メモリーは、プリセット5局のメモリーが完了するまで、順にメモリーしていきます。
- メモリーできる放送局が5局に満たない場合は、低い周波数に戻ってからメモリーします。また、自動メモリーを2回繰り返しても5局に満たない場合は、メモリーされなかったダイレクトボタンには、それまでのメモリーが残ります。
- すでにメモリーしている放送局を、別のダイレクトボタンにメモリーすることはありません。

放送局を確かめる(プリセットスキャン)

1 PSボタンを押す

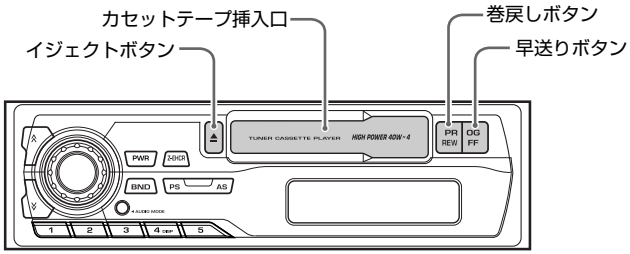
→プリセットメモリーされた放送局を、順に受信します。

- 受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

■プリセットスキャンを解除するには…

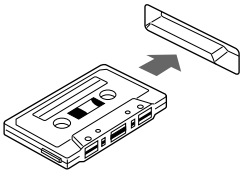
もう1度、スキャンボタンを押してください。

カセットテープを聴く



カセットテープを聴く

カセットテープ挿入口にテープを入れる



→電源がOFFの場合でも、自動的に演奏が始まります。

再生方向を示すランニングインジケータ(◄または►)が点灯します。

⚠注 意

- カセットテープ挿入口に手や指を入れないでください。また異物を入れないでください。

ご注意

- カセットテープは、テープ面を右側にして、まっすぐに入れてください。
- 電源OFF(またはACC OFF)したときは、カセットテープを取り出してください。
  カセットテープを挿入したまま長時間放置するとテープ変形等を起こします。

カセットテープを取り出す

1 イジェクトボタンを押す

→カセットテープがイジェクトされ、ラジオモードに切り換わります。

早送りする

1 早送りボタンをロックするまで押す

→ランニングインジケータ(◄または►)が点滅します。

解除するときは、巻戻しボタンを軽く押します。

巻戻しする

1 巻戻しボタンをロックするまで押す

→ランニングインジケータ(◄または►)が点滅します。
解除するときは、早送りボタンを軽く押します。

カセットテープの演奏面を切り換える

1 早送りボタンと巻戻しボタンを同時に押す

→演奏面が切り換わり、ランニングインジケータ(◄または►)の表示が切り換わります。

■オートリバース機能について…

演奏中にテープが終端に来ると、自動的に演奏面が切り換わります。

故障と思われる前に

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう1度次のことをお調べください。

現　象	原　因	処　置
電源が入らない （音が出ない）	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	配線が不完全	取付説明書をもう一度お読みになって、正しい配線にしてください。
	フェダーの位置が違う	フェダーの位置を動かしてください。
	リモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、リモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
音質が悪い	ヘッドが汚れている	ヘッドの汚れをクリーニングテープ等でとってください。
ボタン操作をしても動作しない。 ディスプレイが正しく表示しない。	配線が不完全	取付説明書をもう一度お読みになって、正しい配線にしてください。

仕　様

■テーププレーヤー部

トラック方式：4トラックコンパクトカセットステレオ
周波数特性　　：30Hz～15kHz
SN比（ノーマルテープ）：48dB
チャンネル
　セパレーション　：48dB（1kHz）
クロストーク　　：50dB（1kHz）
ワウ・フラッター　：0.25%（WRMS）
早送り・巻戻し時間：約120秒（C-60）

■FMチューナー部

受信周波数　　：76.0MHz～90.0MHz
実用感度　　：12dBf（新IHF）
50dBクワイ
　ティング感度　：18dBf（新IHF）
SN比　　：70dB（IHF･A）
周波数特性　　：30Hz～15kHz
分離度　　：35dB（1kHz）
高調波ひずみ率
　（ステレオ）　：0.7%（1kHz）

■AMチューナー部

受信周波数　　：522kHz～1,629kHz
実用感度　　：26dB（μV）
SN比　　：50dB

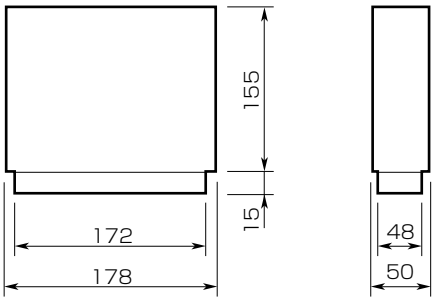
■オーディオアンプ部

定格出力：15W×4（20Hz～20kHz、1%、4Ω）

最大出力　　：40W×4
トーンコントロール：BASS　±10dB
　（100Hz）
　TREBLE±10dB
　（10kHz）
適合スピーカーインピーダンス：4Ω（4～8Ω）

■共通部

電源電圧　：DC14.4V
接地方式　：マイナス接地
消費電流　：2.5A　1W時
外形寸法　：178(W)×50(H)×170(D)mm
　〔取付寸法：155(D)mm〕
質　　量　：　1.3kg



■付属品

- 取扱説明書 1部
- 取付説明書 1部
- 修理相談窓口リスト 1部
- 保証書 1部
- 電源コード 1本
- サラネジ 4本
- セムス六角ボルト 5本

※これらの仕様およびデザインは、改善のため予告なく変更する場合があります。

アフターサービスについて

■保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間

お買い求めの日より1年間です。

■万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
修理納期の短縮等、お客様にとって魅力あるサービスシステムとなっておりますので、販売店へご確認下さい。

■保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後6年保有しています。

クラリオン株式会社

本社 〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2
Clarion ホームページ　http://www.clarion.com

お問い合わせはお客様相談室へ
フリーダイヤル：0120 -112 -140
（9：00～12：00・13：00～17：30/土・日・祝祭日を除く）

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

＊お客様へ … ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。

Printed in China　2006/2　PA-1724A　280-8396-00